

# 事業報告書

団体名:重利の山を守る会

1.メニュー名	(1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業		
2.事業名	「森林の保全と町の活性化」		
3.実施場所	亀岡市曾我部町重利近隣の山林		
4.実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日		
5.実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール実、会場、内容、講師名、参加者、情報など)		
実施年月日	実施内容		参加人員
28年 4月 17日	住宅近くの傾いたスギの木2本伐採 下草刈り		10名
5月 22日	ピザ釜予定地の整備 スギ間伐		6名
6月 26日	住宅近くのクヌギの伐採 山の整備 遊歩道整備		7名
7月 8日	亀岡市交付金決定 事業名【森林の保全と町の活性化】		
8月 12日	地域再生プロジェクト交付金決定【京都府南丹振興局】		
9月 18日	ピザ釜設置用の整地、測量、小屋作り用のスギの伐採		14名
25日	ピザ釜の基礎作り同時に小屋の基礎作り		9名
28日	地域再生プロジェクト交付金決定【公益財団法人京都府市町村振興協会】		
28日	子供会にレンガを配布しイラストを書いてもらう		
10月 2日	子供達とレンガ積み、リレーで子供と一緒にレンガを運び上げる		大人5名 子供10名
16日	ピザ釜完成(火入れテスト完了)		10名
11月 1日	京都新聞に「山の会の活動」が掲載されました		
13日	ピザ釜完成パーティー(ピザ釜創りに協力して頂いた会員、子供会、業者の方、地域の役員等多くの方に参加で、美味しいピザで、楽しいひと時を過ごしました)		大人35名 子供15名
12月 4日	住宅近くのコナラの木3本伐採(薪ストーブ様に細かくし欲しい人に取りに来てもらいました)		12名
29年 1月 8日	自治会を通じ【わが町の花づくり推進事業】より交付金を頂き「緑花協会」よりツツジの苗を購入、山裾に植樹		10名
2月 12日	山裾のコナラの木、桜の木伐採、山の整備		11名
3月 11日	重利の山を守る会総会		30名
12日	山裾のコナラの伐採、(しいたけの原木用にカット)		10名
18日	椎茸菌を打ち込む、生育用の場所作り		8名

6. 成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>山の会が発足して2年目になります。住宅近くの倒木の危険のある木は、ほぼ伐採できました。昨年度から、伐採した木の処理の方法がないものかと思い、芝、薪で、消費するためピザ釜を皆で創りました。間伐材を有効に利用するためログハウス風の小屋も完成しました。スギの木でテーブル、ベンチ等も創りました。倒れていた木は階段、遊歩道の整備につかいました。山から出た木は山で消費する方法が見えてきました。</p> <p>ピザ釜を作る過程で多くの人たちの協力と支援を頂き、温かい気持ちになりました。子供達には、レンガでイラストを描いてもらい、リレーで山の上までレンガを運んでもらいました。レンガ積みにはプロの左官屋さんが小屋作りには、大工さんが、ボランティアで、また、ピザ釜の扉は鉄工所の社長が会の活動に賛同して頂き、格安で創って下さいました。</p> <p>11月13日には協力していただいた多くの方を御招きしてパーティーをし美味しいピザで楽しいひと時を過ごしました。大きな目標のピザ釜完成に向けて参加者の連帯と絆が一層大きくなった事を実感しました。</p> <p>山裾に、2年連続でツツジの苗木を植え、落石防止をし山ノ下を安全に守ります。何より山の裾にツツジの花で覆われるのを楽しみにしています。</p>	
7. 協働の効果	事業実施にあたって、多団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら記入してください。
8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
<p>当初の計画でふるさとの山を美しく蘇らせることは道半ばです。今後も、山の上まで整備し子供達が山で遊べるよう、丸太のすべり台ブランコ等遊具を作り間伐材でツリーハウスを創り、重利の里山の良さを知ってもらえる環境作りを目指します。ピザ釜を山の会で、創った事で地域の「絆」は、深まったことは実感しています。</p> <p>会員の多くの人々の要望で緊急避難時に「炊き出し」できるシステム、又最低限スマホの充電ができる電源設備等、を備えられたらと思っています。</p>	

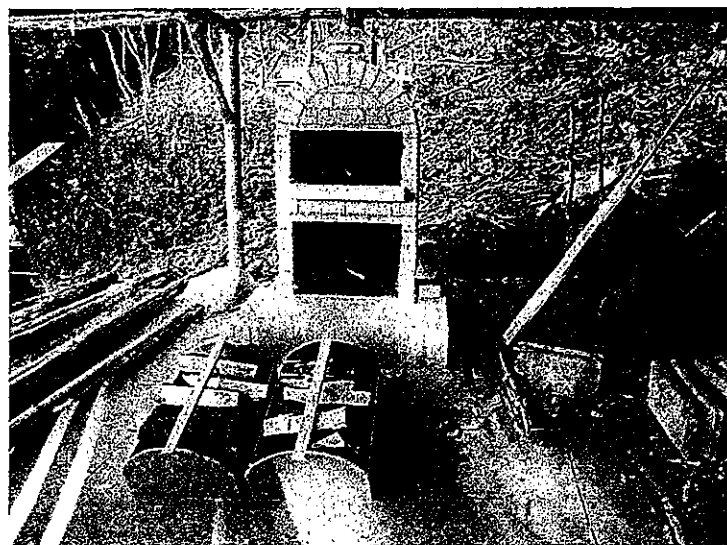
9月25日 基礎作り



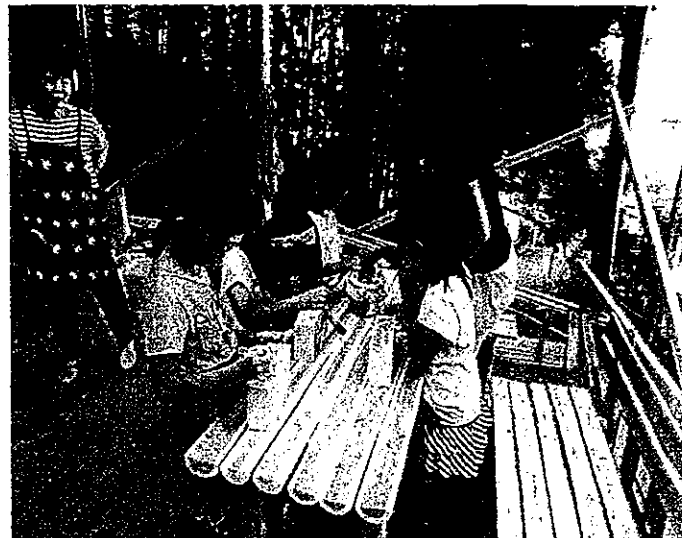
10月2日 レンガ積み



10月16日 ピザ釜完成



9月28日 レンガにイラスト描き



レンガリレー



11月13日ピザ釜完成パーティー



# 亀岡「重利山ノ下住宅」の住民ら

## 隣接の山手入れ 憩いの場に

### 高齢化も経験生かし テラスやピザ窯

丹波の  
ゲンバ



①「重利」の山を守る会が伐採して開いた斜面に手作りのテラス。カフェのように集える場をめぐす(亀岡市曾我部町) ②新たに完成した「テラス」の試験調理で焼き上げりはじめた。 ③住宅地に隣接する重利山。道が通り、光が差すようになったスペースで子どもが遊ぶ。

亀岡市曾我部町のかつての新興住宅街に隣接する山を、住民グループ「重利の山を守る会」が手入れしている。伐採した木を活用して斜面に「清水の舞台」のようなテラスを構え、新たにピザ窯も設けた。

「重利山ノ下住宅」は1970年代にベッドタウンとして山裾が造成され、京都市などに比べると、入居時は働き盛りどころから移り住んできた人たちが多かった住民はリタイア世代へ40世帯が一戸建て住宅に暮らすと高齢化している。寄り合いす。山は戦後に植林された木所帯だった人たちは、多様なが手入れされる近年は荒廃 仕事や趣味などの経験を重ね、倒木などの危険が迫ってきた人たちの集合体でもあった。友禅職人だった長瀬さん

昨年9月に発足した同会のは趣味の木工の経験を生かす住民は山主の了解を得て、木し、大工や左官職のベテランを伐採したり、道をついたりも山の作業に専門の腕を生かして、豊12枚スペースのテラスを組んだ。大勢の親子連れも加わり、レンガ数百個を搬入した。レンガを組んで線は時に炊きたてできる設備も整完成し、伐採した木を燃料に「えたい」と長瀬さんは話す。テスト調理したところ、上々11月13日には幅広い地域の人の任上がりだった。整備されたちへピザ窯を披露する。

(秋元大)